

## 第1章

# 前回調査から21社が新たに開示 本年6月までのIFRS 新規任意適用の状況

### 【この章のエッセンス】

●2021年8月から2022年6月末までに新たに四半期報告書を開示し、IFRSを任意適用した東証上場企業は21社あり、計251社となった。

●前記21社のIFRS任意適用開示時期は年度から開始が12社、第1四半期から開始が9社となっておりおおむね同程度であった。なお、2019年以降第2四半期および第3四半期での開示はみられない。

## はじめに

2009年12月「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規

則等の一部を改正する内閣府令（以下、「内閣府令」という）が公布・施行されて以来、わが国において国際財務報告基準（IFRS）を任意適用した有価証券報告書が公表されている。2022年3月期までの有価証券報告書においてIFRSを任意適用した東証上場企業は246社に達し、これらの企業の開示分析については本誌2022年10月1日号（No.1656）掲載の「IFRS任意適用企業の開示分析」で紹介した。では、IFRS任意適用企業の四半期報告書における開示についてはどうなるかという点、四半期報告書についてはIAS34号「期中財務報告」に基づく規定に従うことになる。次にIFRS適用開始時期については、ほぼすべての企業が年度末または第1四半期からIFRSを適用

（図表1） 2021年11月20日号掲載の「IFRS任意適用企業の四半期開示分析」以降、2022年6月末までに新たに四半期報告書を開示しているIFRS任意適用企業一覧

有価証券報告書等における最初のIFRS報告年度	社名	東証業種分類
2019年3月期 (2021年10月14日に新規上場)	PHCホールディングス(株)	電気機器
2019年3月期 (2021年12月15日に新規上場)	(株)ネットプロテクションズホールディングス	その他金融業
2019年10月期 (2021年11月19日に新規上場)	(株)AB&Company	サービス業
2020年3月期 (2021年9月22日に新規上場)	シンプレクス・ホールディングス(株)	情報・通信業
2020年9月期 (2021年12月23日に新規上場)	(株)ハイブリッドテクノロジーズ	情報・通信業
2021年6月期	日本工営(株)	サービス業
2021年9月期	レカム(株)	卸売業
2021年12月期	三井海洋開発(株) (株)オロ	機械 情報・通信業
2022年10月期 第1四半期	(株)GA technologies	不動産業
2022年12月期 第1四半期	(株)CLホールディングス (株)資生堂 ペプチドリーム(株)	サービス業 化学 医薬品
2022年3月期	TDK(株) 愛知製鋼(株) 日本新薬(株)	電気機器 鉄鋼 医薬品
2023年3月期 第1四半期	日鉄ソリューションズ(株) 川崎重工業(株) (株)WOWWORLD (株)ジーニー (株)ワコールホールディングス	情報・通信業 輸送用機器 情報・通信業 サービス業 繊維製品

した財務諸表を開示しているが、過去には2017年12月期の第2四半期に窪田製薬ホールディングス(株)が、2018年9月期の第3四半期にシェアリングテクノロジー(株)が年度末および第1四半期以外でIFRSを適用した財務諸表を開示していた。